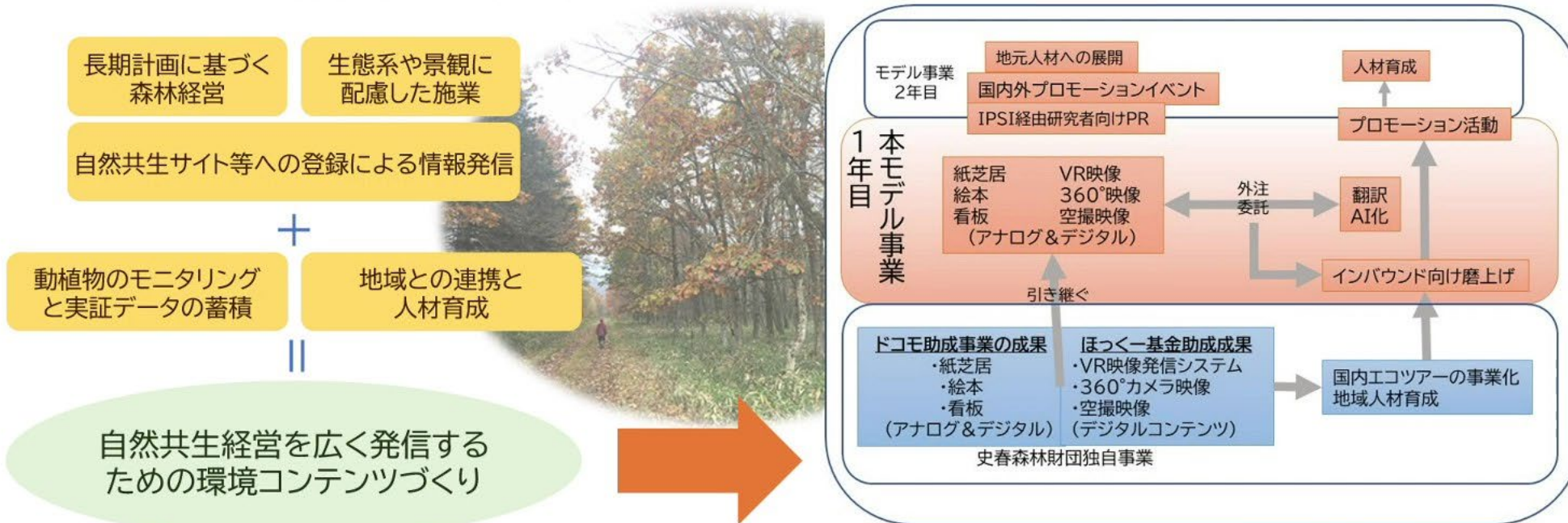




北海道南十勝の自然共生サイト・OECMと国立公園を対比しながら 日本の自然観を観て感じ取れるエコツアーの多言語対応化

一般財団法人 史春森林財団

史春森林財団は、非営利徹底型の法人として、収益は生物多様性や地域経済のために再投資し
「林業」と「生物多様性の向上」の両立を目指しています。



森林作業体験等を案内するプログラムを多言語化・AI化して 観光コンテンツへ磨き上げ、地域の自然を案内できる人材を育成する



海と共生するまち・大槌 ～環境再生型観光モデルの創出～

特定非営利法人おおつちのあそび

岩手県大槌町とは



- ✓ 三陸沿岸中程に位置
- ✓ 東日本大震災により大きな被害
- ✓ 近年気候変動による磯焼け深刻
- ✓ シカによる農作物被害深刻

地域資源



ジビエ事業



震災伝承



藻場再生事業

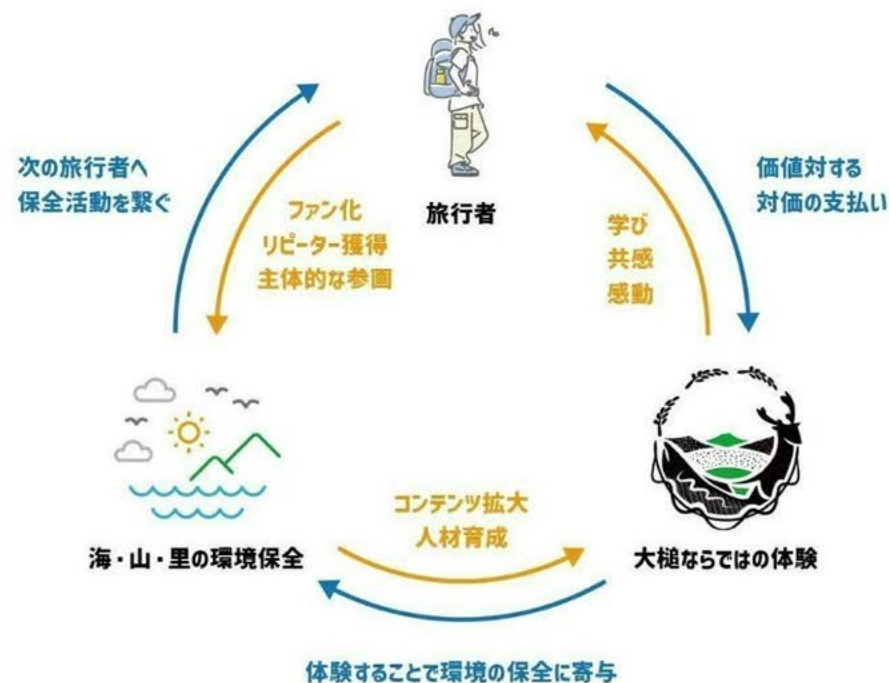


漁業体験

※令和6年度「令和の里海づくり」モデル事業の対象地



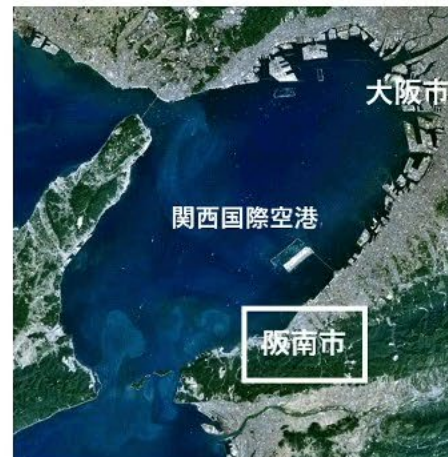
自然との共生・共存 (大槌版リジェネラティブ・ツーリズム)



「海と山が出会うまち」 はんなん森里川海プロジェクト



令和5年度前期自然共生サイトに認定
(沿岸域の自然系海岸(藻場)として全国第1号の認定)



海の魅力



山の資源



持続可能な観光



人とコウノトリが共生するまち・豊岡リジェネラティブな旅

~Regenerative journey to discover the stories of the storks~

コウノトリとの共生

-  絶滅
かつて日本の空から姿を消したコウノトリ
-  保護活動の開始
保護増殖の取り組みが開始
-  野生復帰へ
生息環境の再生・創造と地域社会の変革などの受け皿づくり
→放鳥されたコウノトリが自然界で繁殖
-  共生モデルの確立
人もコウノトリもともに暮らせる社会の創造



【取り組み内容】

“環境負荷の少ない自転車”で
コウノトリの生息地を巡るサステナブルツアー

- ・自然共生サイトをゆっくり楽しみ、地域の歴史・文化・人に触れる
- ・地元の美味しい食材とともに、環境にやさしい農法で作られたお米を食す
- ・コウノトリの生態や環境再生の取り組みなどを地元ガイドが語り、まちの取り組みへのさらなる理解を深める



インバウンド観光の地域課題：①周遊促進・滞在延長、
②二次交通の解決に貢献 + 豊岡ならではの魅力的なコンテンツ：世界的にも類を見ない野生動物の絶滅と復活の取り組みに触れるツアー

【目指す姿】



訪れる人と地域がともに幸せになり、豊かな自然環境を次世代へつなげる“確かな未来”を築くために、環境保全・持続可能な観光を推進し、地域のシビックプライドを育みながら、環境の再生と発展を図るネイチャーポジティブな観光モデルを目指します。

一般社団法人
豊岡観光イノベーション



岡山県広域 里山・里海 学習体験型コミュニティプロジェクト OKAYAMA SATOYAMA-SATOUMI UNIVERSITYプロジェクト

一般社団法人 北房観光協会

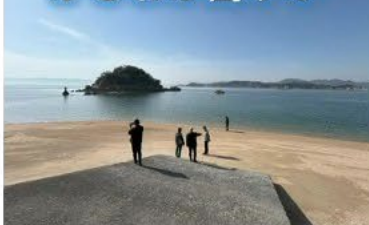
真庭市/里山里海交流館しんぴお



水で繋がる真庭市・備前市・笠岡市の広域な里山里海エリアでオンラインとオフラインがー気通関した自然保全学習・体験コミュニティを形成し地域への継続的な接点作りとインバウンド推進、再来訪を促す仕組み



笠岡市
かさおか島ラボ



里山里海学校交流



備前市/ひなせうみラボ



「水の都西条」の未来につなぐ水資源高付加価値化と環境保全還元モデル構築プロジェクト

このまち、
水がちょっと
すごいです。



なんのプロジェクト？



あたりまえの「すごい」を、
未来につなげるプロジェクト

なにをするの？



旅の喜びが、自然と暮らしを潤す
小さな循環になる。

どんな人が関わってる？



チームDOBADOBA、
これから始まります。

団体：株式会社のどか荘暮らしの設計室・hinel





山都の有機農業をととして体験・交流する「たべる-まなぶ-つながる-そだてる」の良好な環境関係人口創出プロジェクト

団体:株式会社 山都竹琉

事業の概要

・「(株)山都竹琉」は、放棄竹林の整備や伐採後の竹資源の利活用に取り組む地域づくり会社。約10年前から竹がイネ科であることに着目し有機栽培による水稻試験を継続。令和4～6年の地域循環共生圏づくりに取り組み、オリジナルブランド米の「かぐや米」を生産拡大、温室効果ガス削減の「見える化ラベル」(令和5年度)の実証参画や令和元年から世田谷区の東京農業大学付属の稲花小学校への有機米納入を契機に、農林水産省のオーガニックフレンドシップ連携等により令和7年から世田谷区内の学校給食納入へ拡大。
・米消費者を含め、自然共生サイトである「Present Tree in くまもと山都」など、エコツアー参画の意思(良好な環境への貢献及び繋がりを持ちたいというニーズ)が強く、有機農業を軸として農産物を活かした地域の認知度向上、熊本と関係性の強い台湾、インドネシア等を中心に教育旅行・農業研修・エコスタディツアーの受入体制構築、地域観光プログラム開発等を行い、アグロフォレストエコツーリズムの構築に取り組む。

将来像 目指すべき姿

昭和40年代から有機農法による農作物の生産が始まり有機JAS認証事業者数は全国No1、「有機農業で持続可能なまちづくり」令和3年にSDGs未来都市に選定され、有機農産物の食料産地のみならず地域での過ごし方の付加価値向上に資する観光コンテンツづくりに取り組み、良好な環境、有機の里、オーガニックライフスタイルのまち山都町として、滞在型体験への来町者の増加と共にSDGsのまちづくりにつながることを目指していく。



指宿海域の自然共生サイトの活用と 持続可能な観光モデルプロジェクト 山川町漁業協同組合



環境活動体験



名水百選での食



砂むし温泉での癒し



共生サイト由来の水産物

インバウンド訴求ポイント

- ・差別化：沿岸域の劣化、自然との共生
- ・サステナビリティ：地域貢献型ツーリズム
- ・国際対応：鹿児島大学と連携したガイド
- ・情緒的価値：漁業者が海と共に生きる姿の直接体験

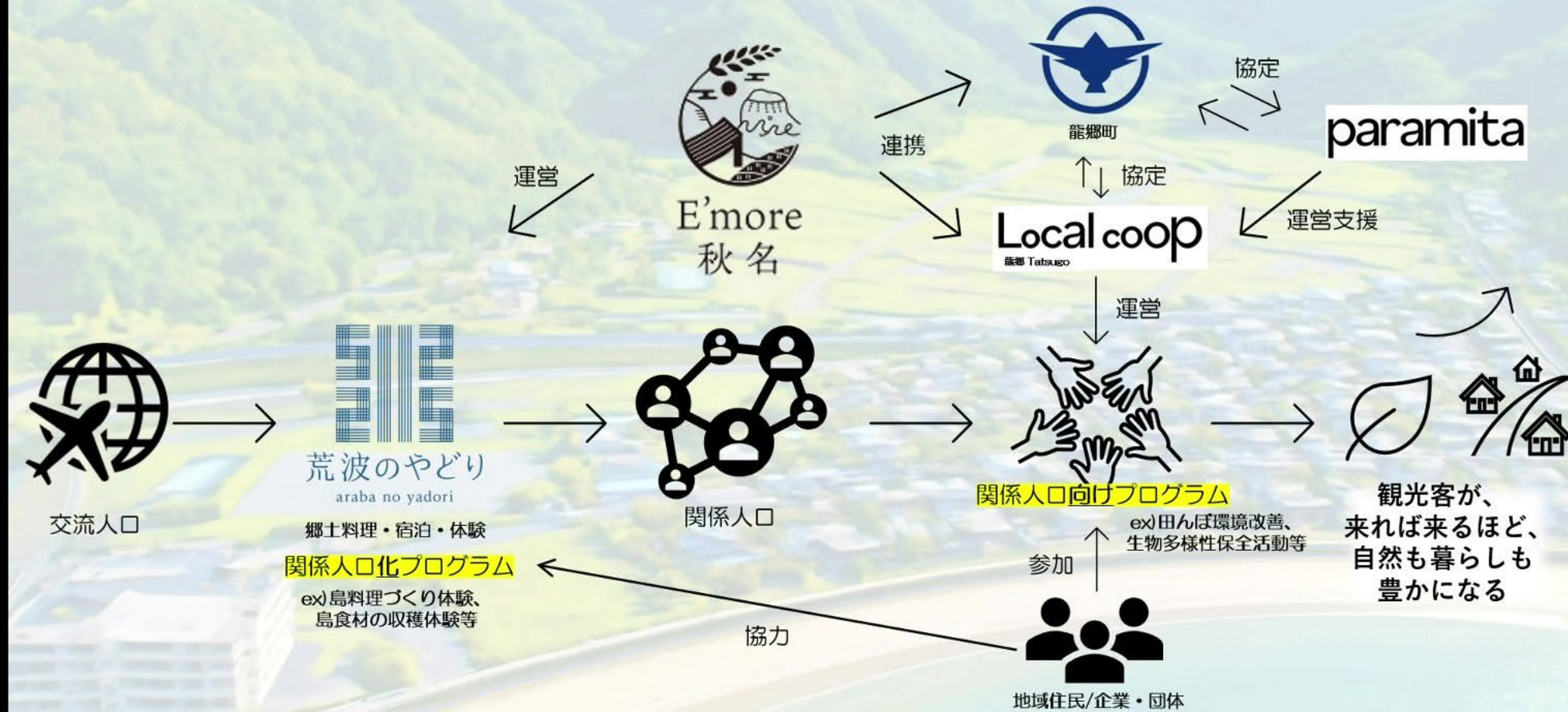


インバ
・差別
・サス
国際
情緒

～100年後も続く観光と自治～

リジェネラティブツーリズム創出事業

一般社団法人E'more秋名



観光による共生と再生 ～インバウンド来訪者対策の小さな変化のはじまり～ 「飲水思源」～水に親しみ、その源に思いをはせる～



フィールド：沖縄県北部 大宜味村「平南川ター滝」

現状と課題

(一般社団法人大宜味村観光協会)

- 年間来訪者：約35,000人（うち外国人観光客36%）
- SNSで急速に拡散された結果、断片的な情報に基づく訪問が増加
- フィールドの危険性への理解不足による重傷・死亡事故、マナー問題の発生

訴求したいポイント

- エシカル・ストーリーテリング：訪問体験に「水と人のつながり」「地元の暮らしの記憶」といった文脈を持たせ、持続可能性への気づきを促進
- 訪問者参加型の環境保全：キープクリーンプログラムなどを通じて、単なる観光から「意味のある関与」へと誘導

目指すビジョン

- 地域と来訪者が協働する、持続可能で責任ある観光地へ。
- 滝をただ“見る場所”から、“守り、気づき、繋がる場所”へと再定義

① 観光教育	観光客自身が「学ぶ」「気づく」「貢献する」関係性を持てる訪問体験を提供する。	キープクリーンプログラム／ゼロエミッション参加推奨／ストーリーテリング
② 雇用創出	観光の質を担保しつつ、地域の自然を日常的に見守り伝える仕事として持続可能な雇用を創出する。	地域雇用による「ター滝パークキーパー制度」の確立／環境調査／多言語対応の強化
③ 収益還元制度	訪問者の体験や行動が、見えるかたちで自然保全・地域循環へつながるよう設計する。	入域制度の設計（準備中）／サポーター認証や称賛の仕組み／情報発信の多言語化と旅前導線の強化及び、見える化。



インバウンド観光に向けてのアプローチ

世界39カ国以上からの訪問者がいる平南川ター滝では、地域文化を体感し、保全に参加できるエシカルトラベルを展開。多言語案内・参加型体験・ストーリーテリングによって、外国人観光客も“この場所の一員”となるしくみを構築していきます。

